

会員の
ひろば

書籍紹介

MBAホルダーと技術士らによる『もっとビジネス』

松井 義孝

1. まえがき

本書は、MBAホルダーと技術士らによる文系・理系の融合型研究活動から書かれている。

この活動の特徴は、報告者の直面する事業、技術、マネジメントといった現実的な課題に対し、グループワークにより解決策を検討し、事業計画の評価・作成のためのコンサルティングを行っている。また、表題の**もっと**は、MOT (Management of Technology) の略称で、日本語では「技術経営」と訳されるが、技術をつかさどる自然科学と経営をつかさどる社会科学の両者がイノベーションには不可欠であると考え、2つの科学的議論を融合する場合であることを多くの事例の中で示している。

2. 文・理系双方の融合から生まれる価値

本書では、理論研究だけでなく実践も重視した活動として、技術士による技術的知識とMBAホルダーによる経営の知識との融合を通じて見いだされた分析結果や発見事実の実践的適用が新たな価値としてまとめている。理系のテクノロジーは、それらの技術展開として、文系のイノベーション戦略は、マーケティングやビジネスプランなどの経営的視点として、さらに人の心の深層部を扱う動機・特性や自己概念などが高業績の価値を見出すコンピテンシー評価として新たに加えていることに注視していただきたい。本書を読めば、イノベーションが技術の中だけではなくサービスや組織においても生じること、また、営利企業だけでなく非営利企業でも重要なテーマになることが理解できる。

3. イノベーション・評価の事例

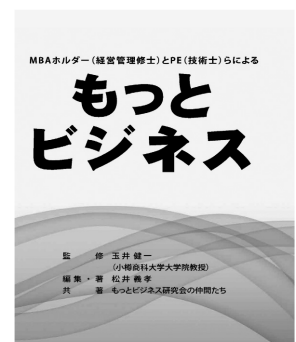
本書で取り上げた題材には、還元型温泉利用方式

による低温除湿乾燥機システム開発、亜鉛界アミノ酸肥料開発、バイオガス発電推進事業・電気自動車へのエネルギー利用、3Dプリンターなど、テクノロジーの製品化と事業化に関わるMOTらしいテーマに加え、観光・犬猫病院及び発達障害児が自立し親亡き後も生き生きと活躍できる社会の仕組みを考えるとといった福祉事業やサービス技術を要する事業など、さらに人の心を扱うリーダーシップ、ソーシャルビジネスのイノベーションやコンピテンシー評価を試みた。また海外の大学との学術交流などMOTを超えた様々なテーマなどを紹介している。

4. あとがき

このコロナ禍の中、一年を通じて日本において、また北海道において経済・技術・社会の中に潜在している様々な課題が認識されたものと思われる。

北海道のイノベーションを生み出す創造へとニューノーマルな活動を再開していくと同時に、これらの課題に向けて新たな「もっとビジネス」のあり方を進めて参りたい。



e-mail : infompe@cosmos.ocn.ne.jp

B5判 208頁 1,300円(税・送料含む)

松井 義孝 (まつい よしたか)

技術士(建設部門) 博士(工学)
MBA(専門職大学院)/経営管理

(一社)技術士リングネット 専務理事
もっとビジネス研究会 代表幹事
MPE 技術士総合事務所 代表

